

研究課題名	血液浄化療法施行時のアルブミン漏出に関連する要因の検討
研究の意義・目的	血液透析療法において、中・大分子領域の尿毒症物質の除去は透析困難症例や透析アミロイドーシス、透析掻痒感、むずむず足症候群の治療に有用である反面、それに伴う体の有用な成分であるアルブミンの透析液排液中への過剰漏出が問題視されます。本研究ではこのアルブミン漏出の原因を探る予定です。
研究を行う期間	公開データベース（厚生労働省が整備するデータベース jRCT）における公表日～2025年12月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2018年6月～2025年12月に大阪公立大学医学部附属病院の泌尿器科人工腎部で、血液透析された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、検査データ、原疾患、喫煙歴、透析歴、併存症、血液浄化療法の治療モード、血液浄化療法条件、透析液の種類、透析経過・透析監視装置圧モニター値、透析中の血圧変動、DWよりの体重増加、除水量、昇圧剤、アルブミン使用の有無、排液中のアルブミン漏出量、バスキュラーアクセスの種類】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者長沼俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 （担当者氏名）長沼 俊秀 電話番号：（06）6645-2366 メールアドレス：m9643361@omu.ac.jp